

【志 花の式】

京都市立下京中学校
校長 安居 昌行

「前向きに生き 花を咲かせる」

年度の終わりには、様々な「別れ」があります。先日は196名の卒業生が下京中学校を巣立っていきました。中学校との別れ、友との別れなど様々な思い出と共に新たなステージへと先輩は一步踏み出していきました。素晴らしい学年合唱の歌声を残して。

「どんなに別れがつらくても、新たな出会いは必ずやってくる。そのときに“次の別れ”を恐れないでほしいのだ。別れが訪れるまでの貴重な時間を大切にして、その人とつきあっていってほしいと思うのである。……人との関係を大切にしている人は、自分のことも大切にしているはずだし、自分のことを大切に生きている人は、出会いや別れのつらさも喜びもひっくるめて、人生を前向きに生きている人だと思うが、いかがだろう。」(『モタさんの「いい人生」をつくるコツ』斎藤茂太著) 出会いと別れ、そして前向きに生きることの大切さを笑顔と元気の達人と呼ばれた斎藤さんは私たちに語りかけておられます。

今日、1・2年生は「志 花の式(修了式)」の日を迎えました。一年間をふり返って、自分の学習や生活を見つめ直す日となりました。この一年、下京中学校では「学習と生活」の「集団と習慣」そして「心とからだ」の「健康と安全」をキーワードに生活を見つめ直してきました。自分自身の一年間の言動を振り返り、学級や学年としてのまとまりはどうであったか、家庭学習などの習慣が身についたかどうかなど、振り返ってみてほしいと思います。そして、4月の新たな「集団」との出会いにつなげてほしいと思います。中学校時代は、時間があっという間に過ぎ去っていきます。青春真っ只中の皆さんは、時には悩みや疑問をたくさんもつこともあると思います。その時、一人で悩みを抱えるのではなく、友と語り合ったり、家族や先生に話を聞いてもらったりすることも必要でしょう。そして、「前向きに生きる」ことを心がければ、きっと自分なりの美しい人生の花を咲かせることができると思います。志は高く、学びは深く、出会いは広く、次のステージへ一步踏み出しましょう。

(府立植物園にて)

